

## 苅田町長選挙

# 遠田孝一氏が無投票で再選

～4年間の実績と早い準備による盤石態勢が奏功～



▼無投票当選が決まり支援者と万歳三唱を行う遠田氏

任期満了に伴う苅田町長選挙が10月26日に告示され、JR九州労組議員団会議所属で現職の遠田孝一氏の他に立候補の届け出がなく、無投票で再選を果たした。

遠田氏は3月にいち早く立候補を表明。JR九州労組は、JR連合福岡県協や連合福岡京築・田川地協と連携し、連合福岡や福岡県交運労協をはじめ、19の構成組織・組合から推薦を取り付けた他、中央本部支部とも連携し、後援会活動に精力的に取り組んできた。また、自民、立憲、

公明の推薦も取り付けるなど盤石の態勢を固め、同町長選では40年ぶりの無投票となった。

遠田氏は同日夕、当選が決まると事務所に駆け付けた約50人の支持者を前に、「後援会をはじめ町議の皆さまや多くの方々の支援があって、無投票で当選することができた」と謝辞を述べ、「政治の道に入って、町議を2期6年、町長を1期4年勤めてきたが、分からないことを理解できるまで勉強し続けた10年間だった」と述懐した。その上で、「苅田町は、高速道路、鉄道、空港、港といった陸・海・空それぞれの交通の拠点を持ち、今後さらなる発展が見込まれる」として、「今後は災害に強い町づくりが必要。苅田町は情に厚い町であり、皆様から厳しい意見のみならず、貴重な提言も頂いてきた。今後も町民の声を聞き続けていきたい」と決意を語った。そして、「苅田町をより素敵な街にしたい。町役場をもっと働きやすくしたい。町民にとって住みやすい街としたい。皆で切磋琢磨して、町全体を成長させたい。不安もあるが、この10年間で得た知識と経験、ネットワークを生かして精一杯務めさせていただく」と2期目の抱負を語った。



▼駆け付けた芦原委員長と勝利のゲータッチ

**中央本部支部をはじめとした各級機関のこれまでのご支援・ご協力に感謝申し上げます。**